

山田地域のまちづくりと 公共施設の状況

① 地域の現状

1

地域の現状

地域の概況

- 山田地域は平成17年に市町村合併で富山市となった面積約40.92km²の地域である。
- 山田地域は市の中心部から比較的アクセスのよい場所に位置する農山村地域で、スキー場や温泉、宿泊施設などの観光資源を有し、近郊等からのレジャーにも対応している。

山田地域の観光施設

- 人工造雪多目的施設
- 森のコテージ木MAMA
- ふれあいの里 ささみね
- 牛岳温泉スキー場管理事務所
- オートキャンプ場 きらら
- 体験農場等利用促進施設 てんころ館
- 自然環境活用センター 牛岳ハイツ
- フォレストアメニティ展望台

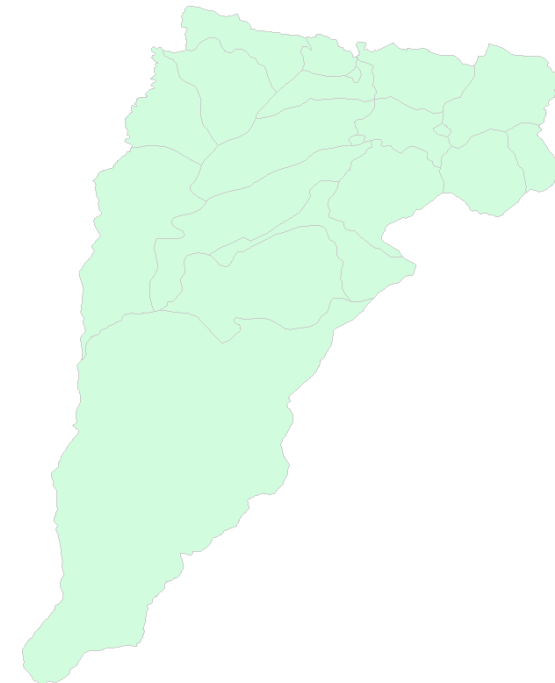
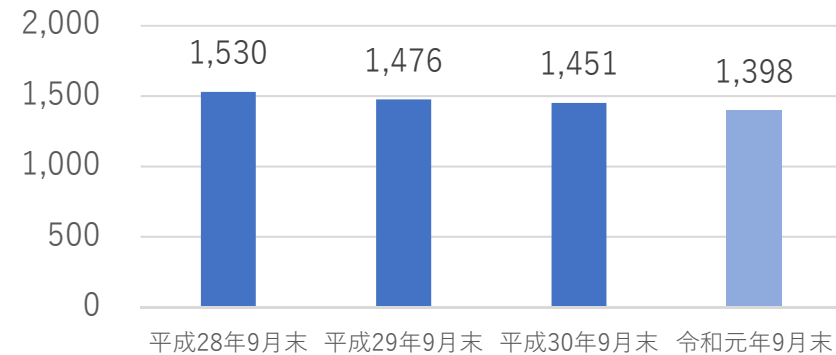


牛岳温泉スキー場
(画像：富山市HP)



オートキャンプ場 きらら
(画像：オートキャンプ場きららHP)

山田地域・各年9月末住民基本台帳人口



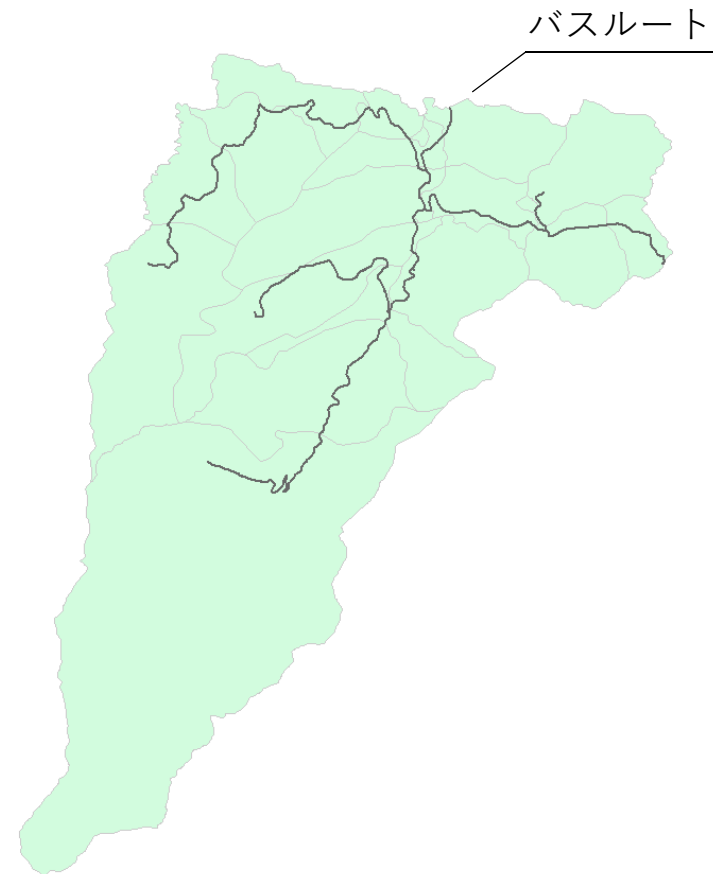
1

地域の現状

公共交通の整備状況

- 富山市市街地に通じる主要地方道富山庄川線が地域の中央部を縦断し、東西を横断する主要地方道砺波細入線が地域の北部を通り抜け、砺波市と富山市八尾地域を結んでいる。
- 主な交通手段はバスで、富山地方鉄道バスと富山市コミュニティバスが運行している。

系統	運行本数 (平日)
八尾（熊野・堤防）・山田・富山簡 保保養センター・国立富山病院 線	9本
山田八尾線	4本
清水線	4本
谷・牛岳温泉スキー場線	1～3本

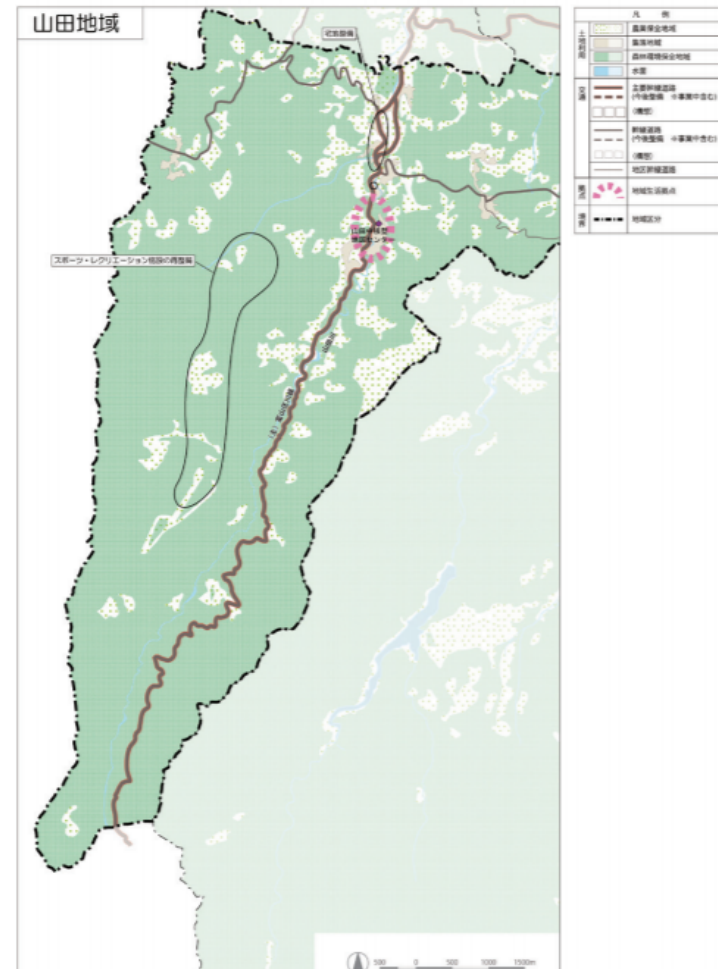


地域の現状

地域の拠点（都市マスタープラン）

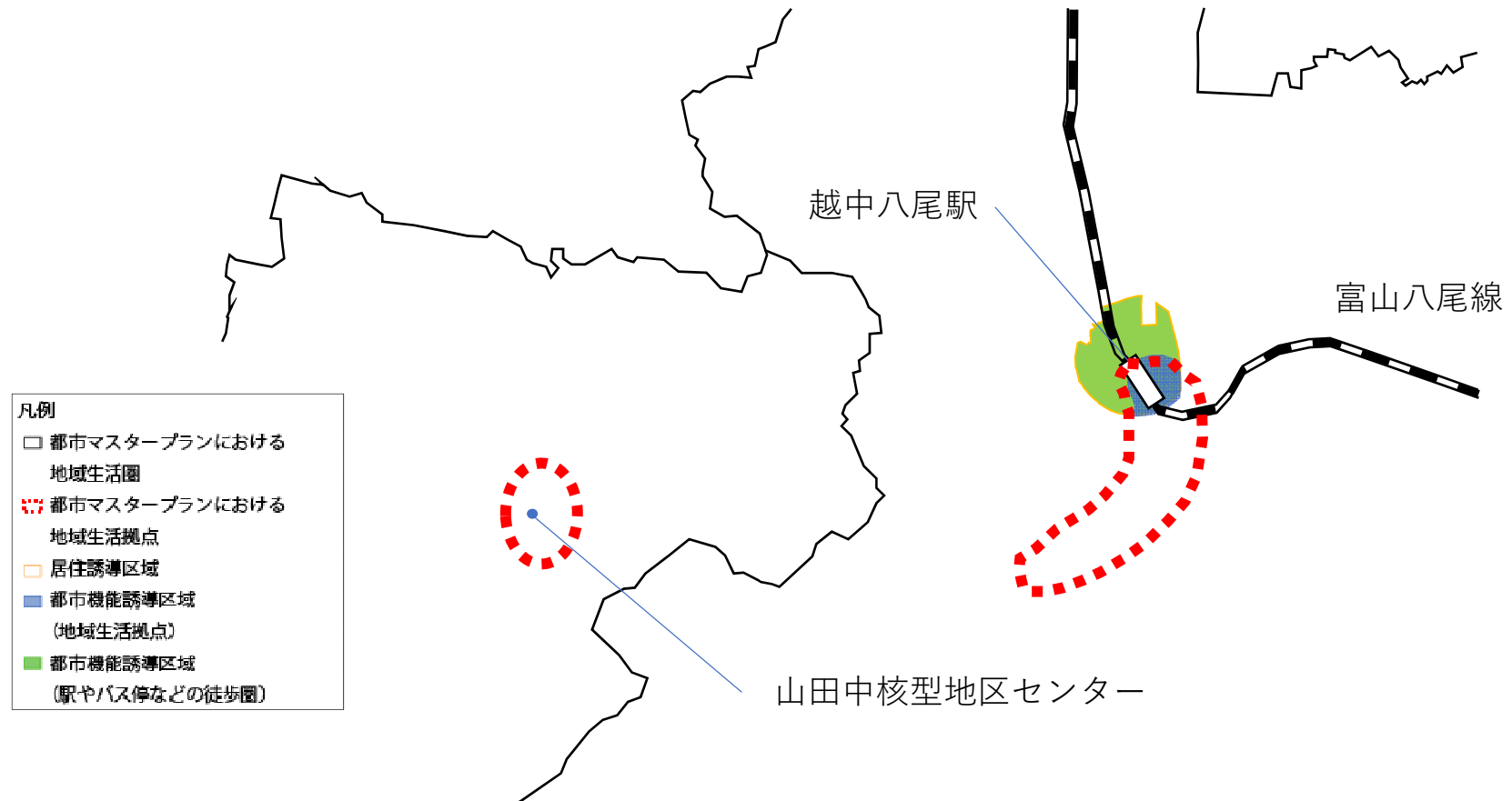
山田中核型地区センター周辺を地域生活拠点と位置付け。

- 富山市は、お団子と串の都市構造（鉄軌道をはじめとする公共交通を活性化させ、その沿線に居住、商業、業務、文化等の都市の諸機能を集積させることにより、公共交通を軸とした拠点集中型のコンパクトなまちづくり）を目指しており、お団子のうち市域全体の拠点を「都心」とし、地域生活圏ごとに「地域生活拠点」を設定している。
- 地域生活拠点には、日常生活に必要な商業等の諸機能の集積を図ることにしている。
- 山田地域では、山田中核型地区センター周辺を地域生活拠点として位置づけている。



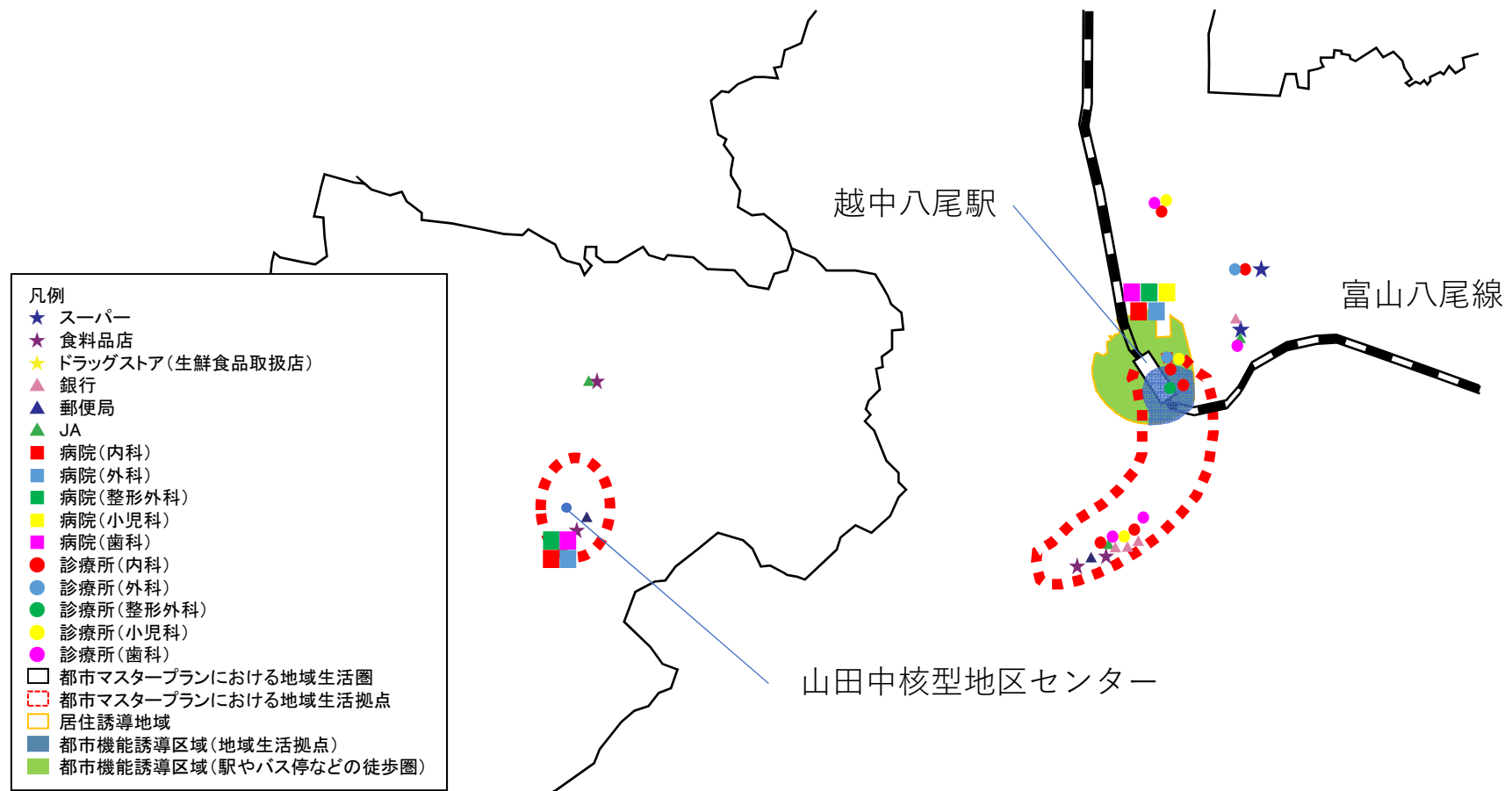
市の立地適正化計画では、山田中核型地区センター周辺を地域生活拠点と位置づけ。

- 立地適正化計画は、駅やバス停の徒歩圏に「居住を誘導するエリア（居住誘導区域）」や「都市機能を誘導するエリア（都市機能誘導区域）」を定めて、コンパクトなまちづくりを進める計画である。
- 山田地域内には、居住誘導区域や都市機能誘導区域の指定がなく、山田中核型地区センター周辺が地域生活拠点に指定されており、センター周辺から概ね半径1 kmの範囲に商業施設を誘導することとしている。



山田地域には商業施設の立地がほとんどない。

- 日常生活に必要な機能である商業施設等の立地をみると、地域生活拠点である山田中核型地区センター周辺にはスーパーやドラッグストアの立地がなく、地域生活拠点から約 8.3 km離れた越中八尾駅付近まで行かなければならない。



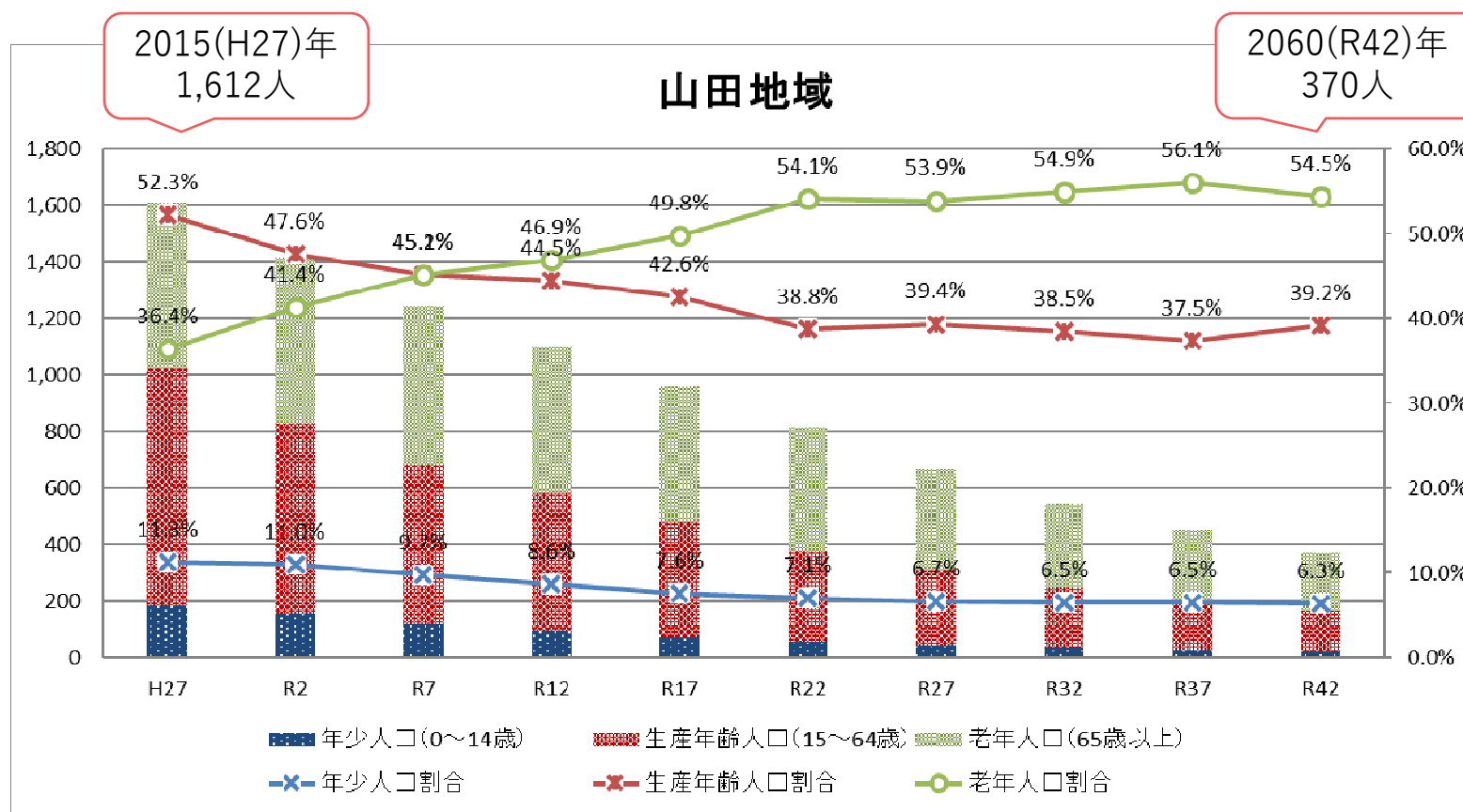
1

地域の現状

地域人口

今後、人口は大きく減少し、2060（R42）年には現在の2割程度となる。

- 総人口は令和42年までに22.9%に減少する。
- 高齢者人口、生産年齢人口、年少人口の全人口区分において大きく減少し、特に生産年齢人口と年少人口は平成27年の13～17%程度となる。



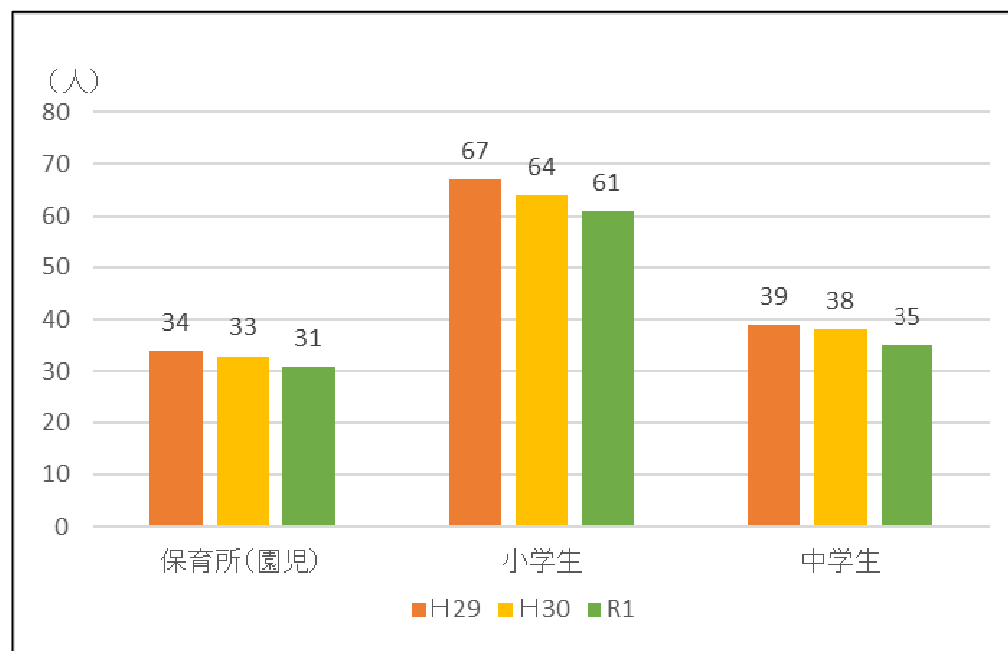
1

地域の現状

園児・児童・生徒数推移

子どもの人口は現在も減少傾向となっている。

- 山田地域の園児・児童・生徒数は減少傾向となっている。
- 将来推計人口を加味すると、今後さらに減少すると予想される。



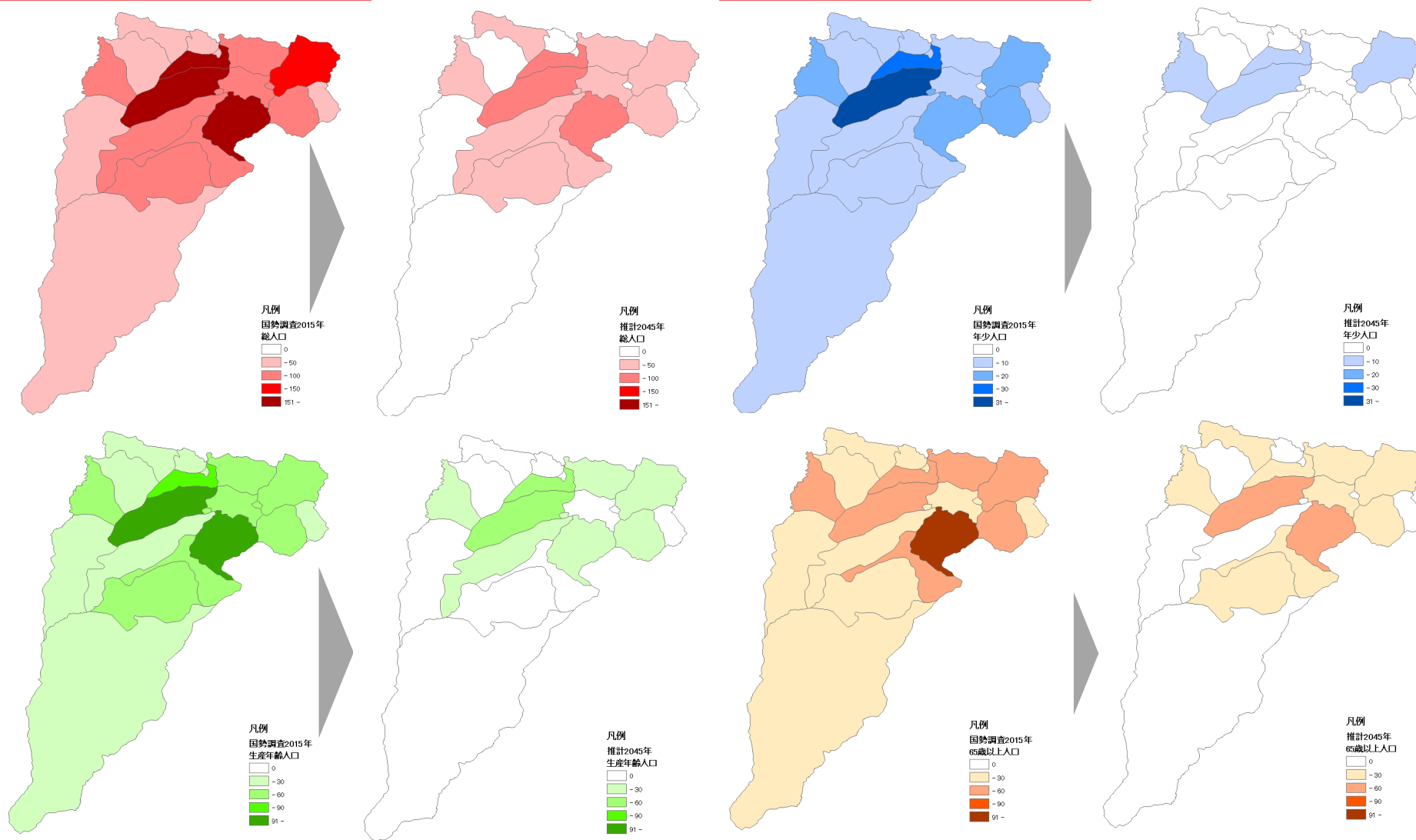
保育所	山田保育所
小学校	山田小学校
中学校	山田中学校

1

地域の現状

町丁目別人口（2015年→2045年）

主要地方道富山庄川線沿いの地域に人口が集中。



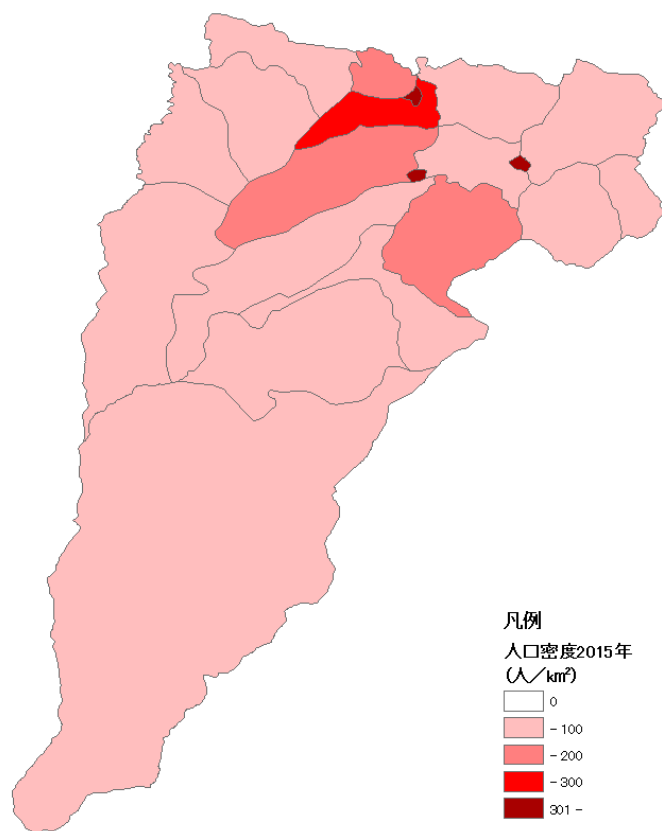
1

地域の現状

町丁目別人口（2015年）

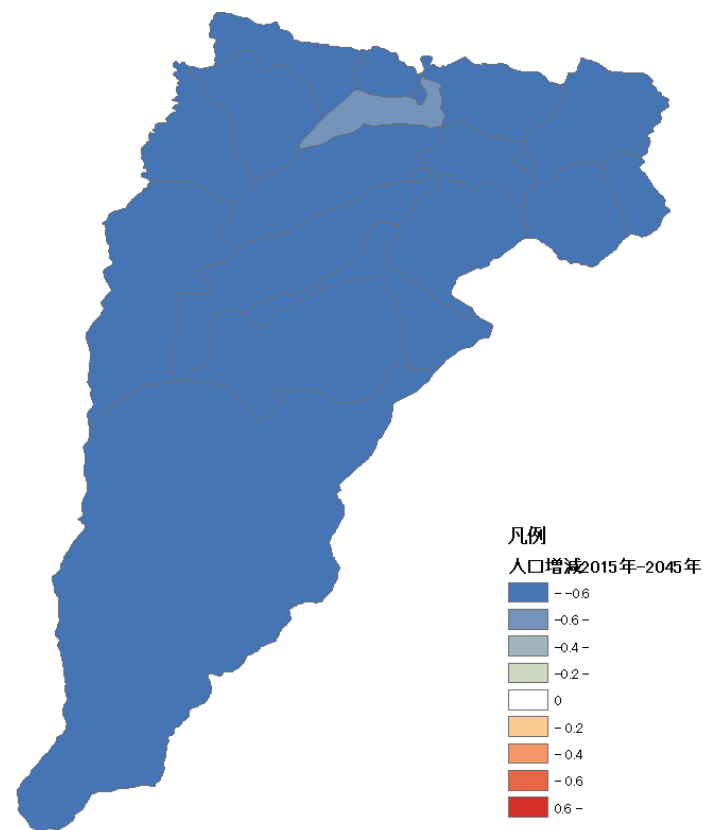
人口密度

- 人口密度が高い地域は主要地方道富山庄川線沿いの地域でみられる。



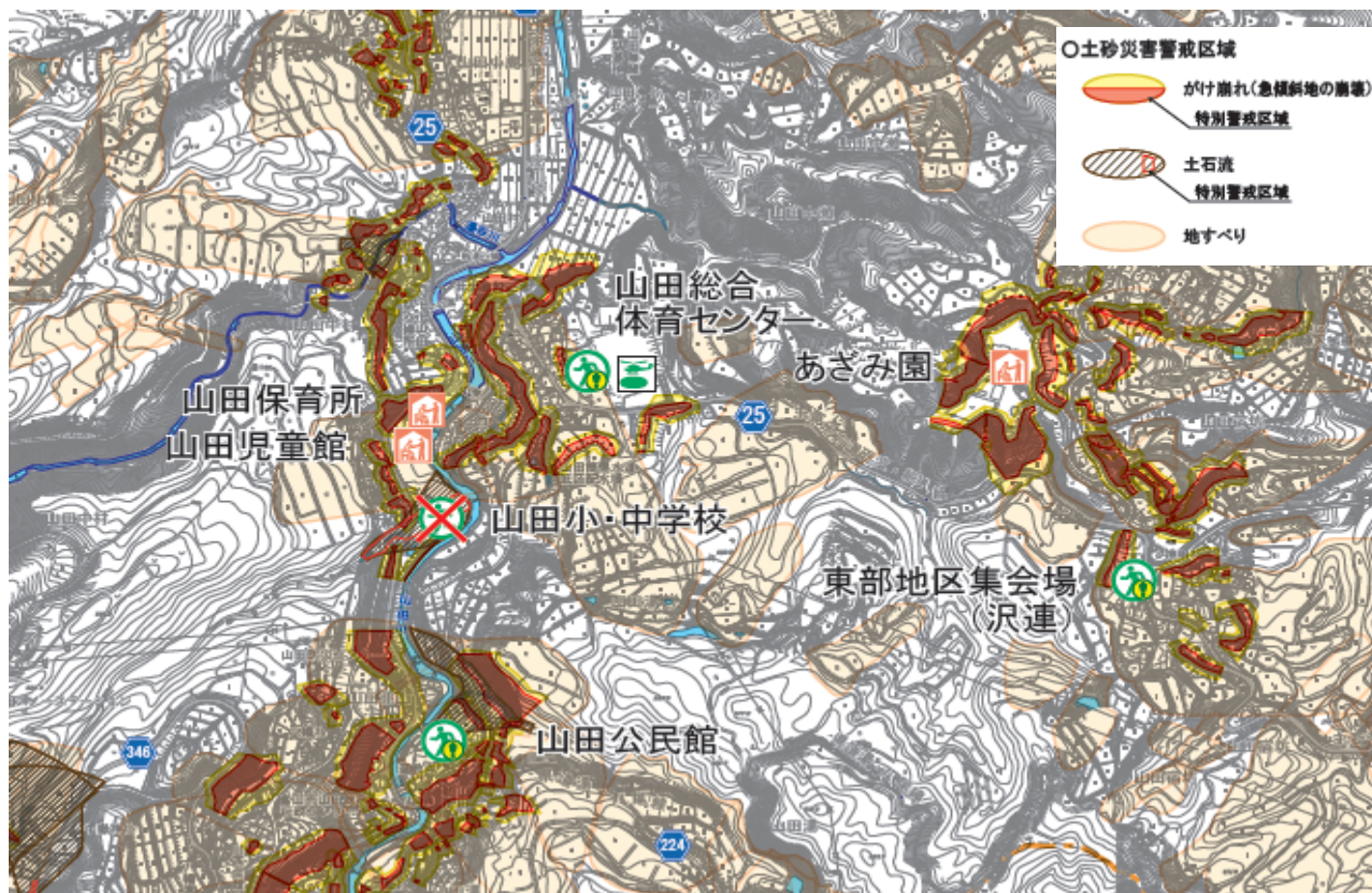
人口増減

- 全体的に人口は減少傾向にある。



土砂災害ハザードマップ

- 山田地域は山に囲まれた地域であるため、多くの場所が土砂災害警戒区域に指定されている。



1

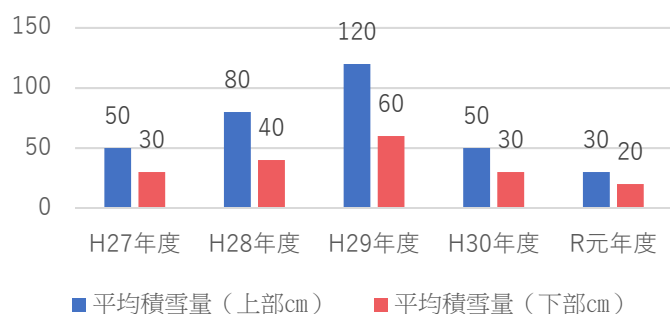
地域の現状

レクリエーション施設

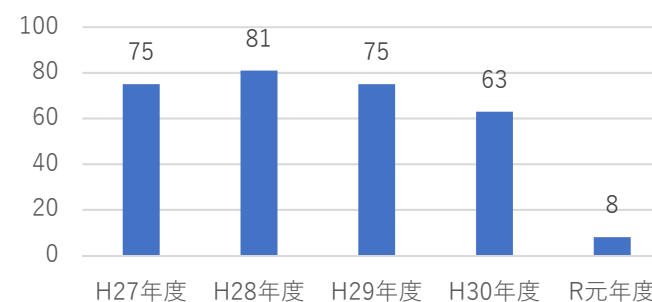
【牛岳温泉スキー場 運営状況】

- 近年の暖冬化により平均積雪量は減少しており、それに伴い、営業日数、入込客数、収入が減少していると考えられる。

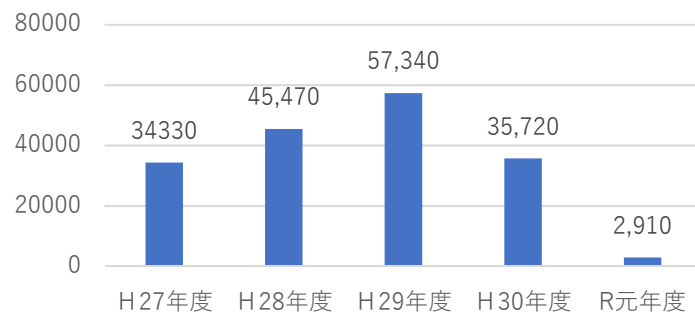
平均積雪量 (cm)



営業日数 (日)



入込客数 (人)



収支状況

(単位：千円)

歳入	H27年度 決算額	H28年度 決算額	H29年度 決算額	H30年度 決算額	R元年度 決算額
1.事業収入	60,226	78,553	97,632	63,477	9,463
2.諸収入	1,126	2,060	543	166	2,017
3.繰越金	0	0	0	0	0
4.起債	0	0	0	43,700	0
5.財産収入	6	6	0	337	615
歳入合計	61,358	80,619	98,175	107,680	12,095

歳出	H27年度 決算額	H28年度 決算額	H29年度 決算額	H30年度 決算額	R元年度 決算額
1.管理運営費	112,066	122,456	136,819	128,868	91,950
2.スキー場整備事業費	388	476	462	473	759
3.公債費	38,922	38,844	39,787	83,408	37,110
4.予備費	0	0	0	0	0
5.前年度繰上充用金	0	0	0	0	0
歳出合計	151,376	161,776	177,068	212,749	129,819

考えられる地域の課題

- 今後、人口が大きく減少見込みであり、特に年少人口の減少率と高齢化率は14地域中もっとも大きくなっています。
- 公共交通でのアクセス性については、鉄道駅はなく、バスが主要な交通手段となっているものの、運行本数が少なく利便性は低いです。
- スーパーやドラッグストアなどの生活に必要な機能を持つ施設は、地域内にはないため、八尾地域や婦中地域の施設を利用することが想定され、公共交通でのアクセス性の改善が求められます。
- 山間部に位置しているため、多くの場所が土砂災害警戒区域に指定されています。
- 山田地域の特徴としては、恵まれた自然環境を活かしたスキー場やキャンプ場などのレクリエーション施設が充実していることが挙げられますが、一方で利用が減少している施設もあります。恵まれた資源を活かし、多様な観光客のニーズに対応した滞在交流機能の充実を図り、観光振興を進めるとともに、将来の人口規模に見合った公共施設の再編が求められます。

② 公共施設の状況

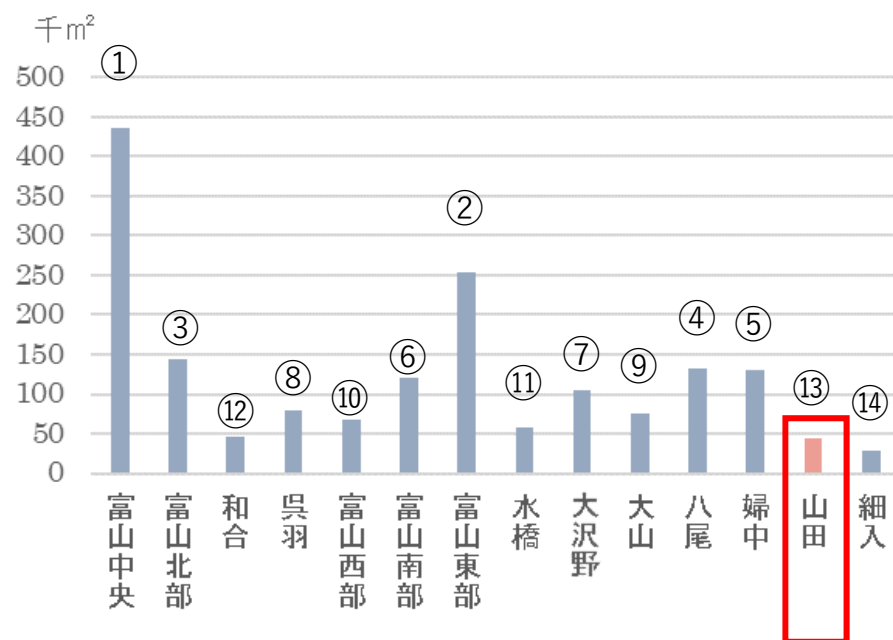
2

公共施設の状況

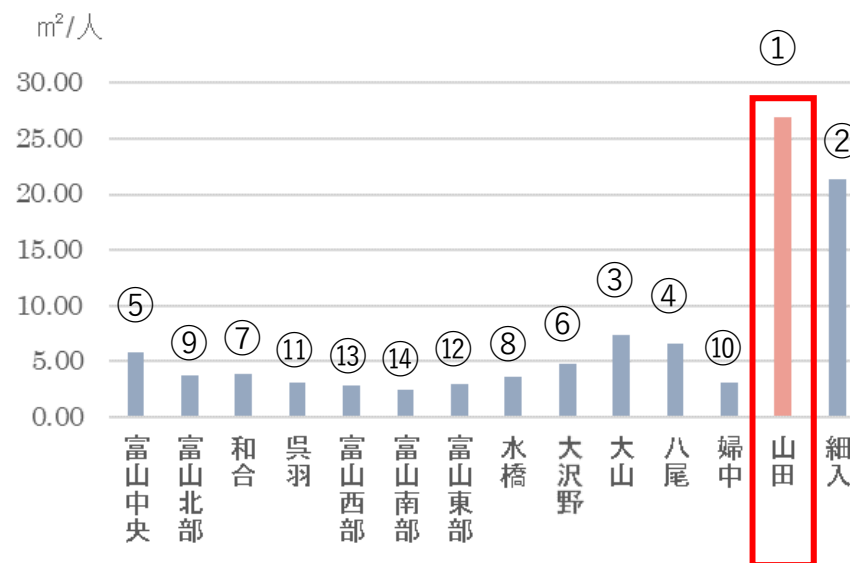
公共施設の保有量（総量）

- 公共施設の保有量をみると、山田地域は富山市内の14地域のうち2番目に少なくなっている。
- 一方で、人口1人あたりの延床面積では、最も多くなっている。

地域別公共施設延床面積



(参考) 地域別公共施設1人あたり延床面積



2

公共施設の状況

公共施設の配置

- 山田地域の公共施設は、地域の北側、主要幹線道路である県道59号（富山庄川線）の周囲に多く整備されている。
- また、観光施設の多くは県道346号（山田湯谷線）沿線に多く整備されている。



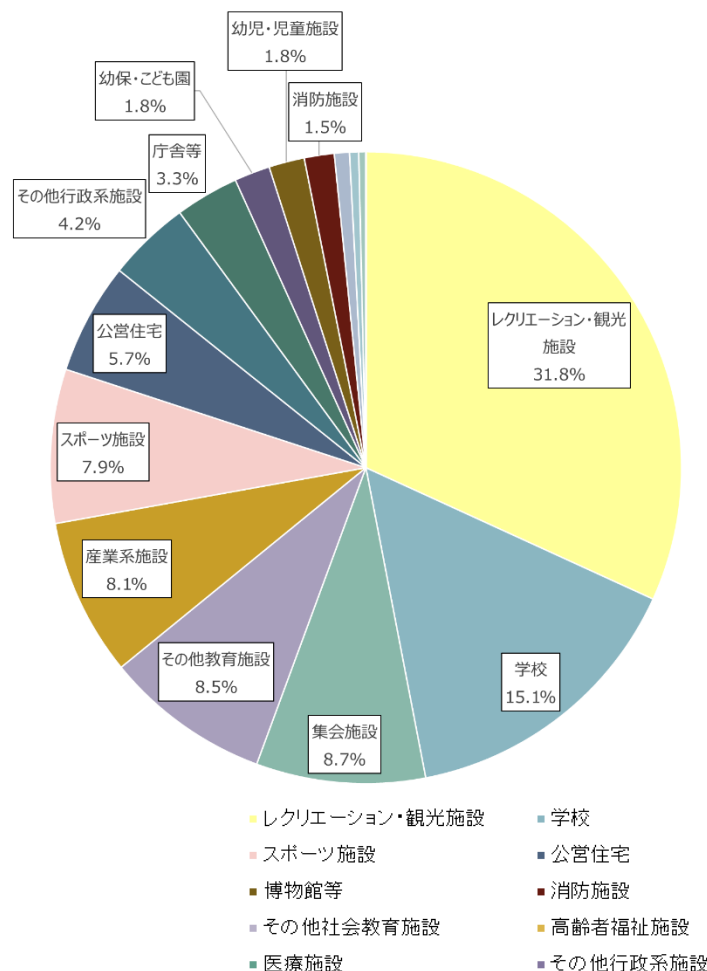
2

公共施設の状況

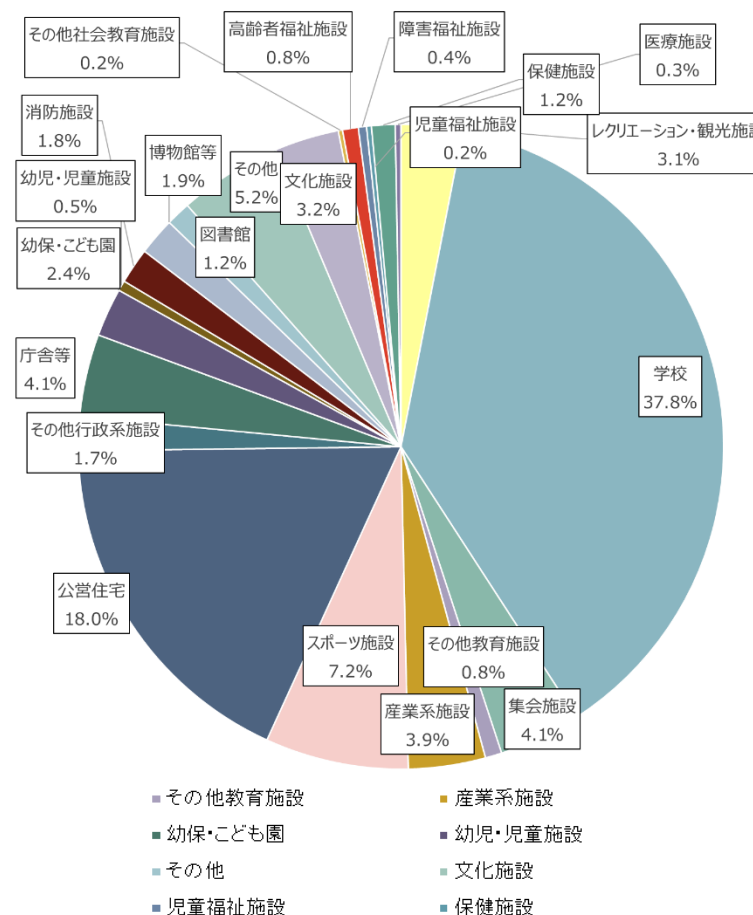
公共施設の保有量（内訳）

- 内訳を見ると、レクリエーション・観光施設がもっとも多く約32%、また、学校が約15%と割合が高い。
- 富山市全体と比較すると、レクリエーション・観光施設、その他教育施設、産業系施設の割合が高い特徴がある。

山田地域の公共施設内訳（延床面積）



（参考）富山市の公共施設内訳（延床面積）

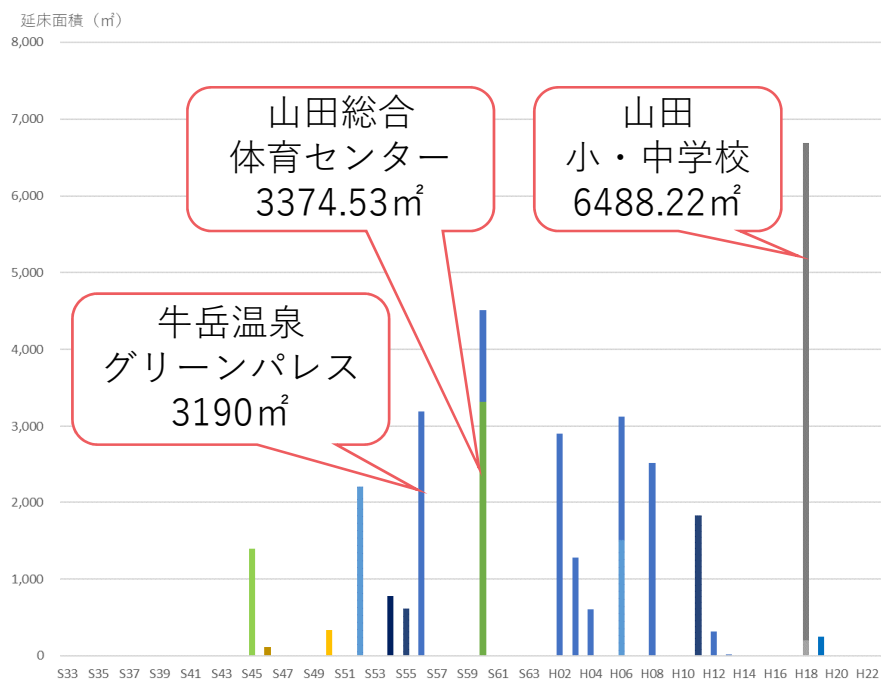


公共施設の状況

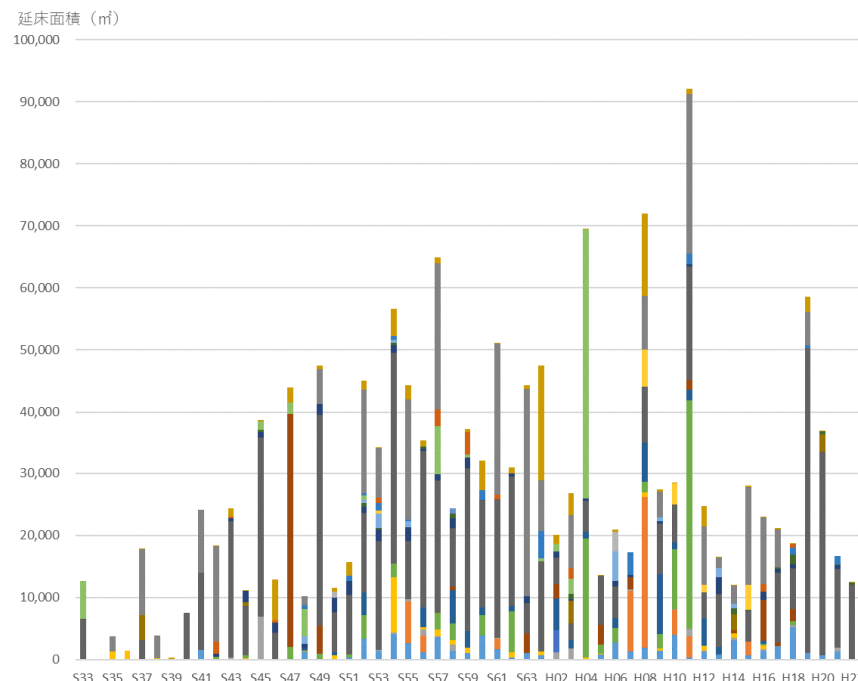
公共施設の整備年

- 公共施設の整備年別延床面積をみると、昭和60年と平成18年に多く整備されている。スポーツ施設や学校などの規模の大きい施設が建設されたタイミングである。

【山田地域】



【富山市全域】



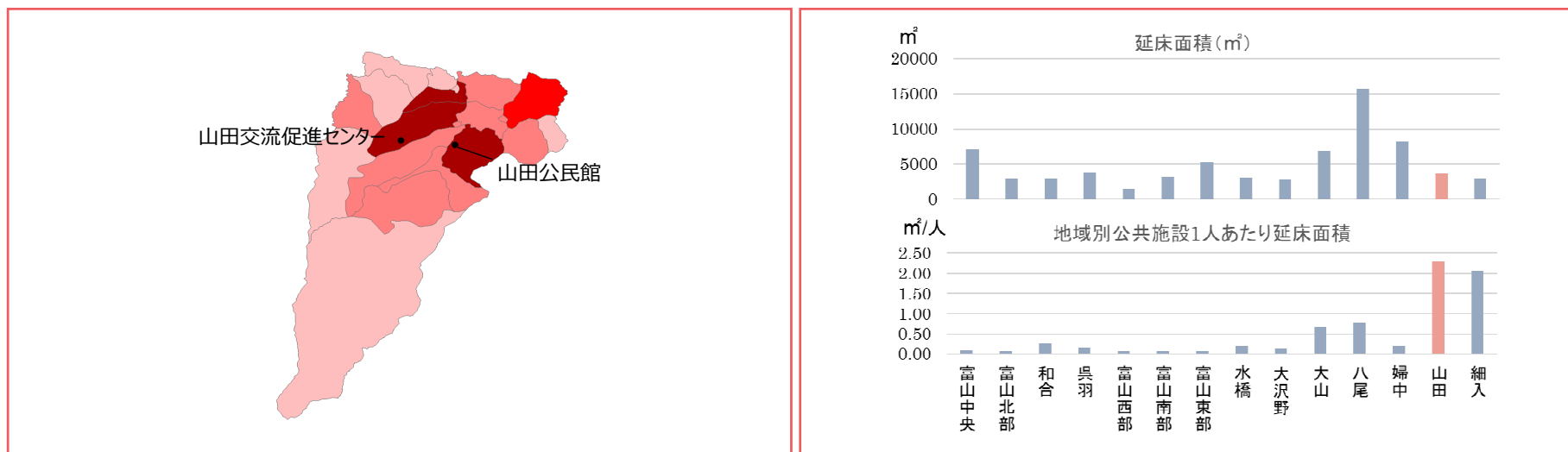
- 集会施設
■ 文化施設
■ 図書館
■ 博物館等
■ その他社会教育施設
- スポーツ施設
■ レクリエーション・観光施設
■ 産業系施設
■ 学校
■ その他教育施設
- 幼保・こども園
■ 幼児・児童施設
■ 高齢者福祉施設
■ 障害福祉施設
■ 児童福祉施設
- 保健施設
■ 医療施設
■ 庁舎等
■ 消防施設
■ その他行政系施設
- 公営住宅
■ その他

2

公共施設の状況

公共施設の基本情報

集会施設（公民館、その他集会施設）



分類	施設名	延床面積 (㎡)	築年数 (令和2年度)	稼働率 (%)	年間利用人数 (人)	避難所	対象
公民館	山田公民館	2,206.30	43	5.79	8,329	●	●
その他集会施設	山田交流促進センター	1,506.00	26	7.11	253	●	●
富山市平均		671.07	—	14.25	7,452	—	—

考えられる課題

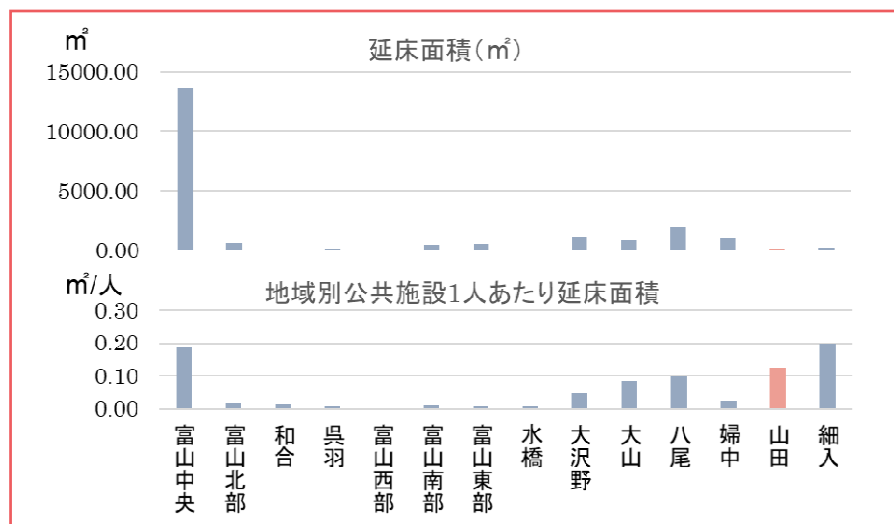
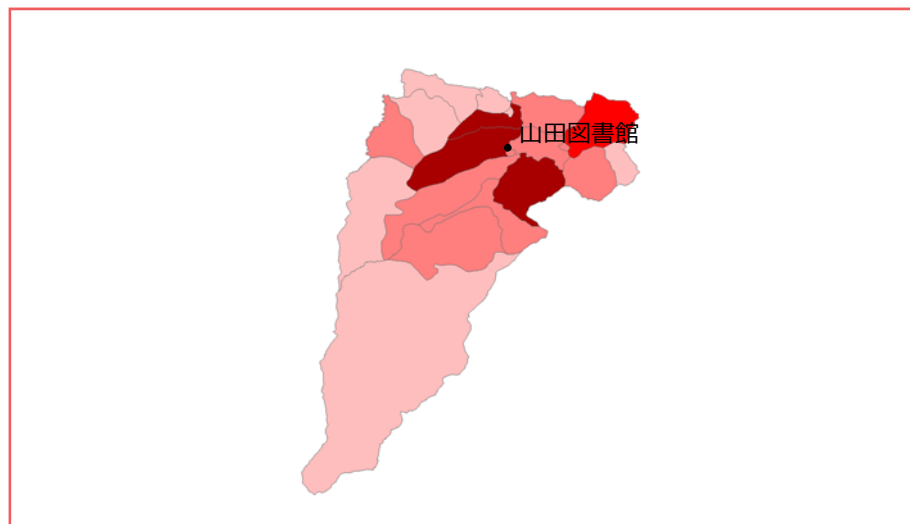
- 山田公民館は、築40年以上経過していることから、今後、耐震性能の強化や機能の改善を含む改修が必要になります。また、建物は現在では過大となっており、空きスペースが多く発生している状況です。統廃合や施設の複合化など、施設のあり方について検討することが望まれます。
- 山田交流促進センターは、年間利用人数が非常に少ない施設です。
- 稼働率が低くなっていることから、利用促進や統廃合など施設のあり方について検討することが望まれます。
- 延床面積が全市平均と比較して大きくなっています。また、1人あたりの延床面積は富山市内でもっとも大きくなっています。
- 全市的な方針では、将来的に公民館は小学校区に1か所程度の配置とすることとしています。

2

公共施設の状況

公共施設の基本情報

図書館



分類	施設名	延床面積 (㎡)	築年数 (令和2年度)	年間利用人数 (人)	避難所	対象
図書館	山田図書館	200.00	14	9,068	●	●
	富山市平均	774.38	—	72,013	—	—

考えられる課題

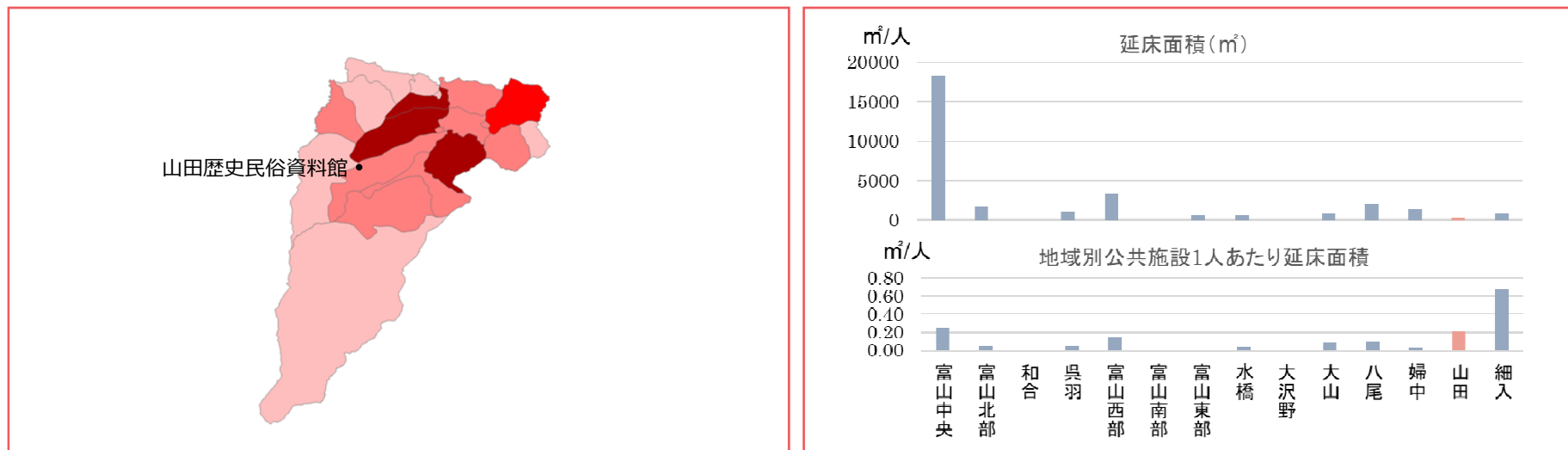
- 図書館は、主に地域の方々や児童が利用する施設であり、山田地域に唯一の図書館であることから、機能維持が必要であると考えられます。
- 一方で、年間利用人数の全市平均と比較すると、非常に少ない状況であるため、利用の促進に努める必要があります。

2

公共施設の状況

公共施設の基本情報

博物館等



分類	施設名	延床面積 (㎡)	築年数 (令和2年度)	年間利用人数 (人)	避難所	対象
博物館等	山田村歴史民俗資料館	331.45	20	20	—	—
	富山市平均	967.65	—	29,862	—	—

考えられる課題

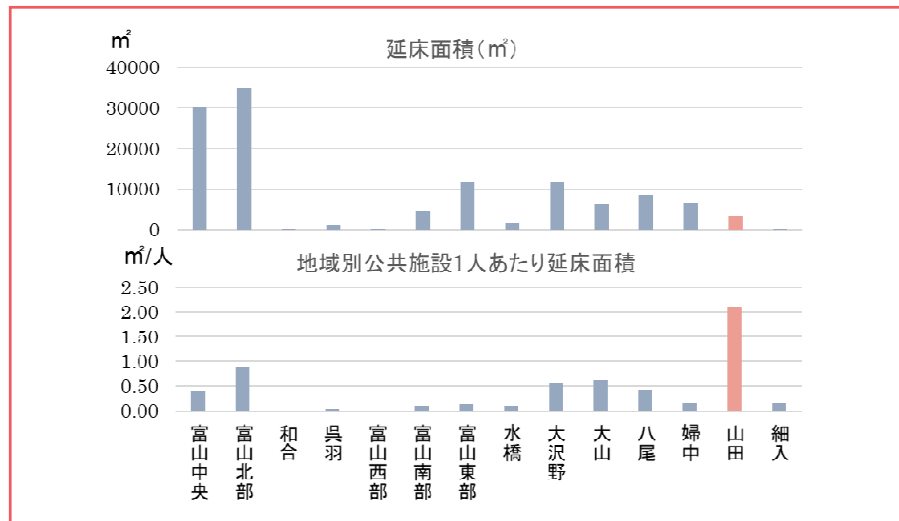
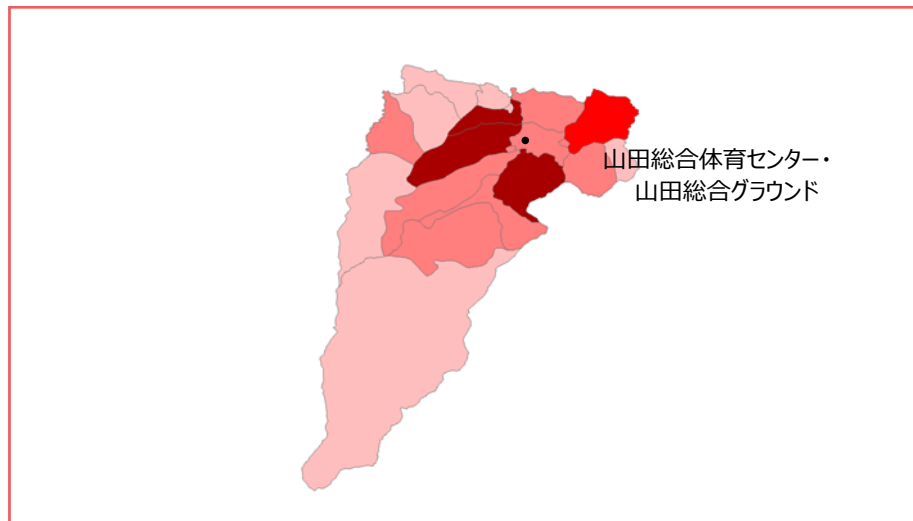
- 山田村歴史民俗資料館は、今回のワークショップでの検討対象外です。

2

公共施設の状況

公共施設の基本情報

スポーツ施設（体育館、プール、その他スポーツ施設）



分類	施設名	延床面積 (㎡)	築年数 (令和2年度)	年間利用人数 (人)	避難所	対象
体育館	山田総合体育センター	3,374.53	35	10,404	—	●
	富山市平均	3,934.26	—	68,423	—	—
運動広場	山田総合グラウンド	—	15	1,883	—	●
	富山市平均	69.53	—	6,300	—	—

考えられる課題

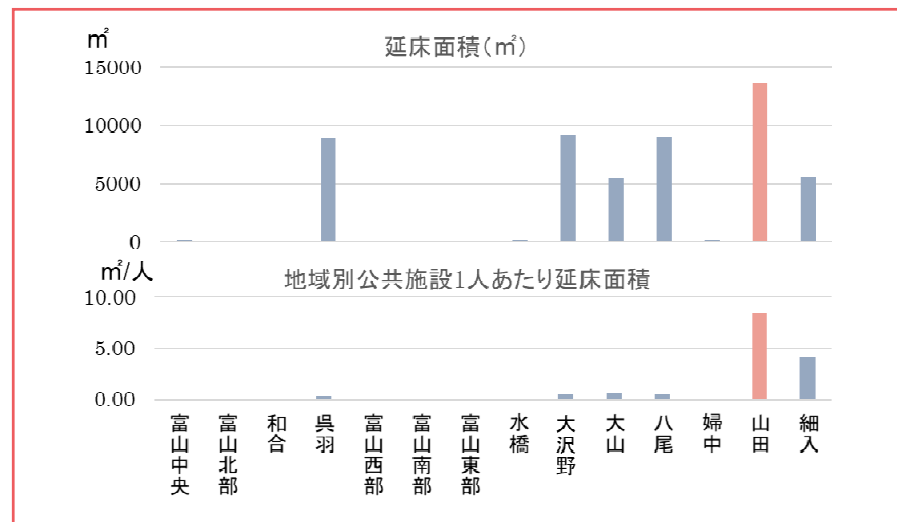
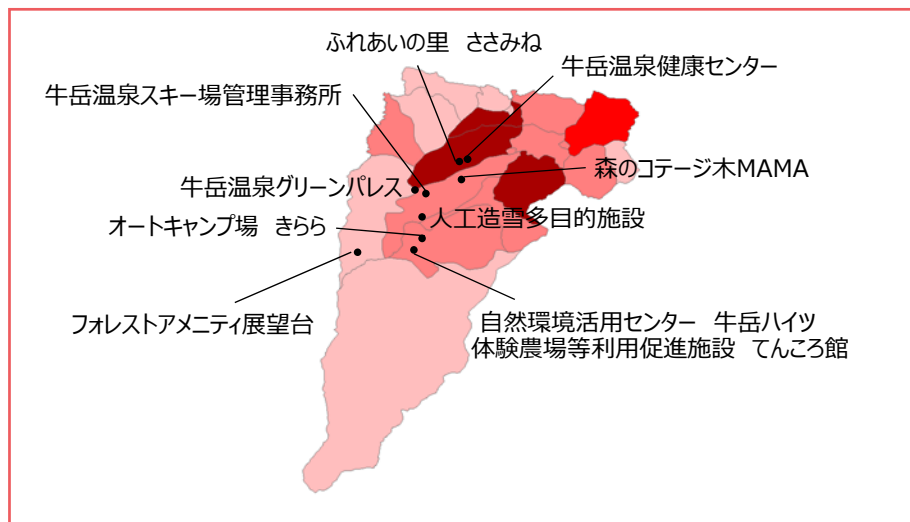
- 山田総合体育センターは、築35年以上経過していることから、今後も長期にわたって利用し続ける場合、改修が必要になります。
- 山田総合グラウンドは、利用者数が少ない状況です。利用の促進や運営の効率化に努めることが望まれます。

2

公共施設の状況

公共施設の基本情報

レクリエーション・観光施設



分類	施設名	延床面積 (㎡)	築年数 (令和2年度)	年間利用人数 (人)	避難所	対象
観光施設	人工造雪多目的施設	1,128.61	26	—	—	●
観光施設	牛岳温泉スキー場管理事務所	1,281.15	29	—	—	●
観光施設	森のコテージ木MAMA	495.10	26	—	—	—
観光施設	ふれあいの里 ささみね	2,512.07	24	—	—	—
観光施設	オートキャンプ場 きらら	320.77	20	2,502	—	●
観光施設	体験農場等利用促進施設 てんころ館	608.62	28	3,547	—	—
観光施設	自然環境活用センター 牛岳ハイツ	1,188.75	35	10,377	—	—
観光施設	フォレストアメニティ展望台	16.01	19	—	—	●
富山市平均		993.55	—	56,674	—	—
宿泊・入浴施設	牛岳温泉健康センター	2,900.91	—	33,219	—	●
宿泊・入浴施設	牛岳温泉グリーンパレス	3,190.00	—	—	—	—
富山市平均		3,436.99	—	98,007	—	—

2

公共施設の状況

公共施設の基本情報

レクリエーション・観光施設

考えられる課題

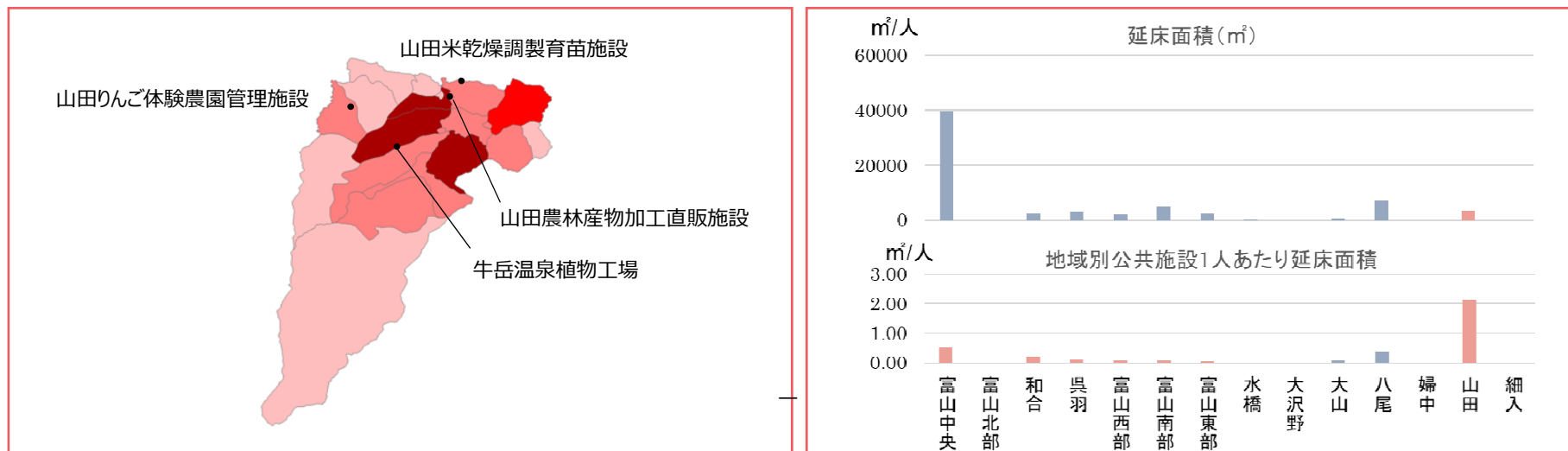
- レクリエーション・観光施設は、延床面積及び1人あたり延床面積が市内でもっとも大きくなっています。
- しかし、中には利用者数が少ない施設も存在します。サービス水準の向上や運営の効率化に努めるとともに、民営化や廃止などを含めた施設のあり方を地域の方々と考えていくことが望まれます。
- 森のコテージ木MAMA、ふれあいの里ささみね、体験農場等利用促進施設てんころ館、自然環境活用センター牛岳ハイツ、牛岳温泉グリーンパレスは、今回のワークショップでの検討対象外です。

2

公共施設の状況

公共施設の基本情報

産業系施設（産業振興施設）



分類	施設名	延床面積 (m ²)	築年数 (令和2年度)	年間利用人数 (人)	避難所	対象
産業振興施設	牛岳温泉植物工場	823.67	7	—	—	—
産業振興施設	山田米乾燥調製育苗施設	1,917.80	25	39	—	—
産業振興施設	山田りんご体験農園管理施設	247.52	18	3,388	—	—
産業振興施設	山田農林産物加工直販施設	462.08	15	31,324	—	●
富山市平均		3,283.15	—	5,633	—	—

考えられる課題

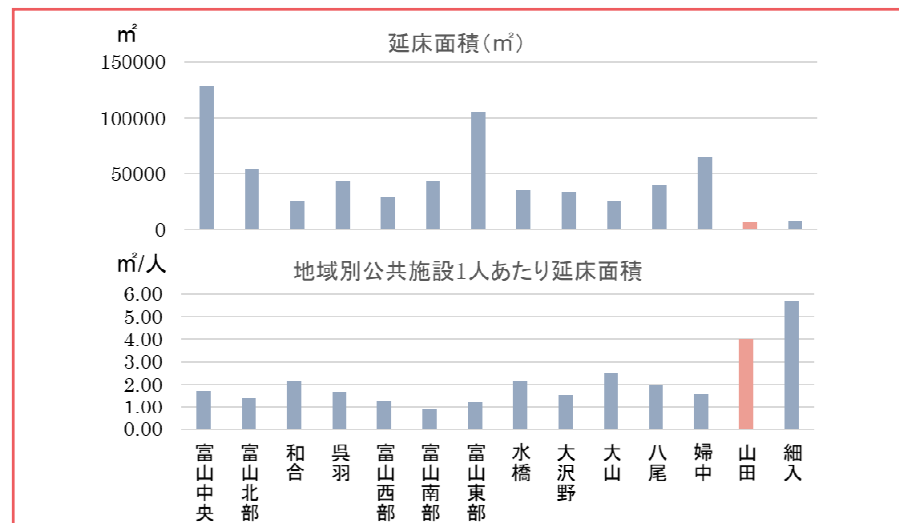
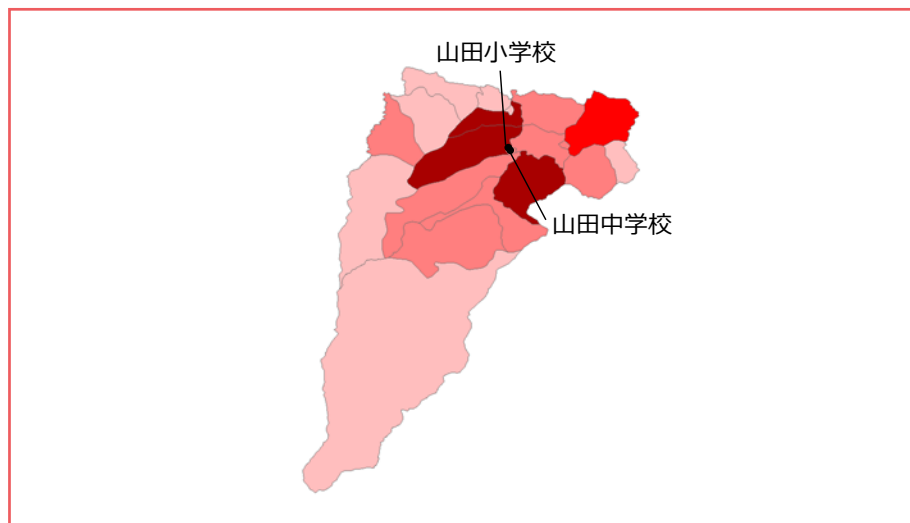
- 1人あたりの延床面積は富山市内でもっとも大きくなっています。
- 牛岳温泉植物工場、山田米乾燥調製育苗施設、山田りんご体験農園管理施設は、今回のワークショップでの検討対象外です。

2

公共施設の状況

公共施設の基本情報

学校（小学校、中学校）



分類	施設名	延床面積 (m²)	築年数 (令和2年度)	児童生徒数(人) (令和元年度)	避難所	対象
小学校	山田小学校	3,976.00	14	61	●	●
	富山市平均	6,451.12	—	—	—	—
中学校	山田中学校	2,512.22	14	35	●	●
	富山市平均	8,136.79	—	—	—	—

考えられる課題

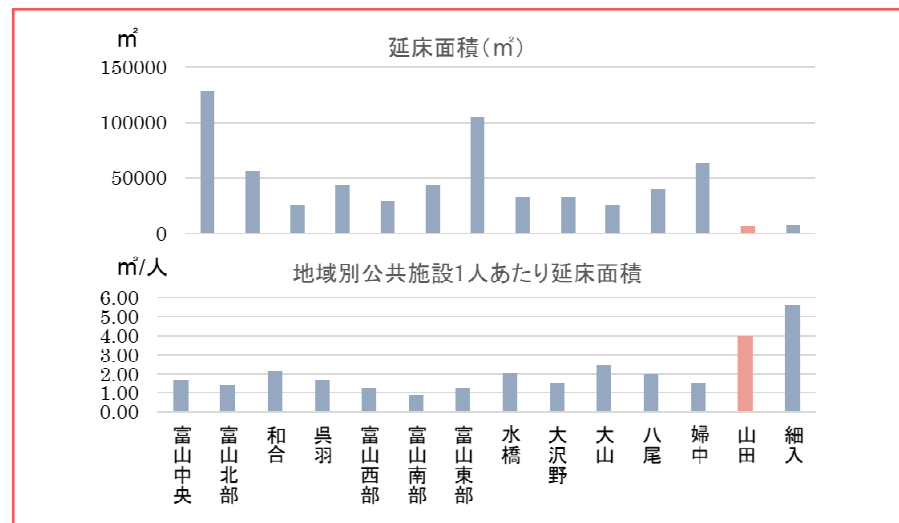
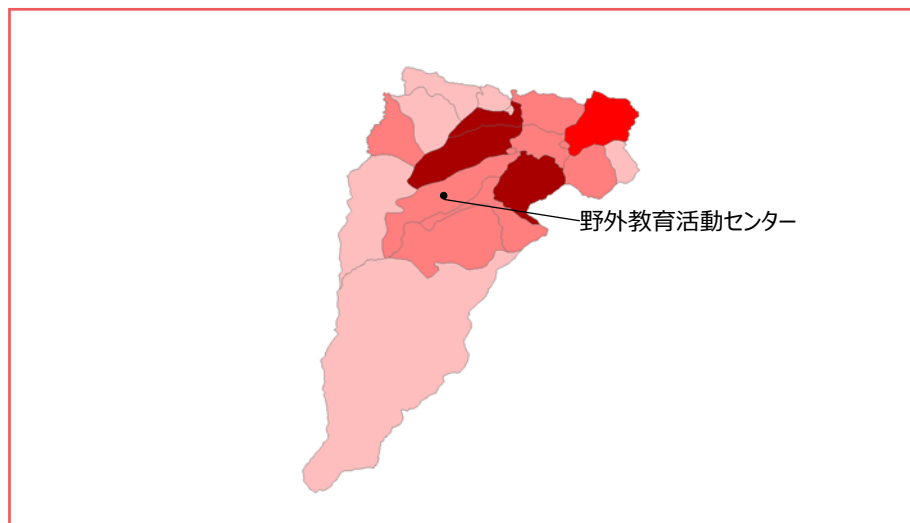
- 将来にわたり児童数・生徒数が少ない場合は、他の学校との統廃合を検討していく必要があります。
- 児童生徒が減少し、慢性的に余裕教室が生じている場合は、教育や安全に支障のない範囲で、地域の集会施設などを校舎内に配置することも考えられます（学校施設の複合化）。

2

公共施設の状況

公共施設の基本情報

学校（その他教育施設）



分類	施設名	延床面積 (m²)	築年数 (令和2年度)	年間利用人数 (人)	避難所	対象
その他教育施設	野外教育活動センター	3,641.08	29	12,015	—	●
	富山市平均	2,193.85	—	5,746	—	—

考えられる課題

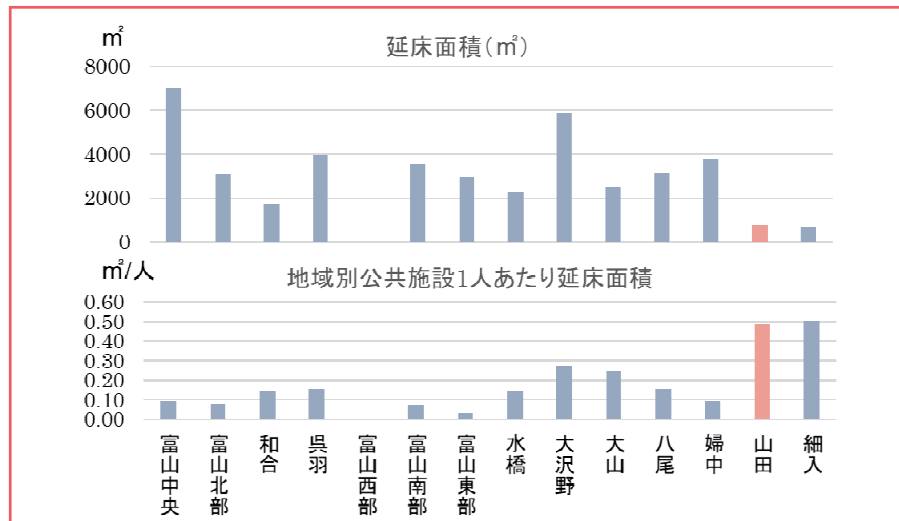
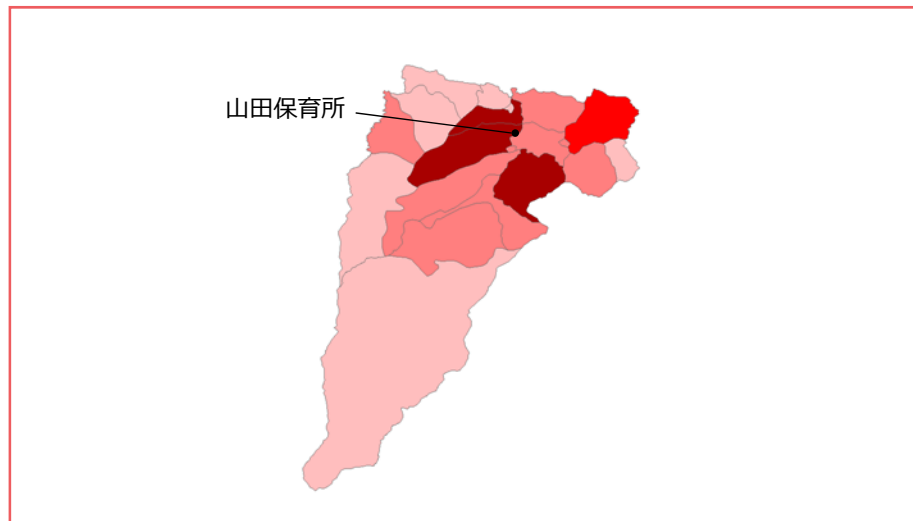
- 市内には類似施設があることから、廃止などを含めた施設のあり方を地域の方々と考えていくことが望まれます。

2

公共施設の状況

公共施設の基本情報

幼保・こども園（保育所）



分類	施設名	延床面積 (m²)	築年数 (令和2年度)	園児数(人) (令和元年度)	避難所	対象
保育所	山田保育所	783.10	41	31	—	●
	富山市平均	745.41	—	—	—	—

考えられる課題

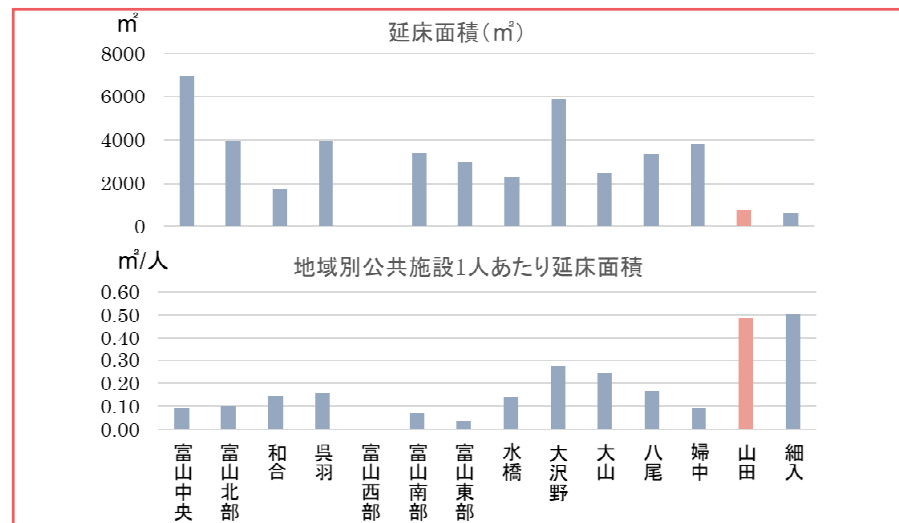
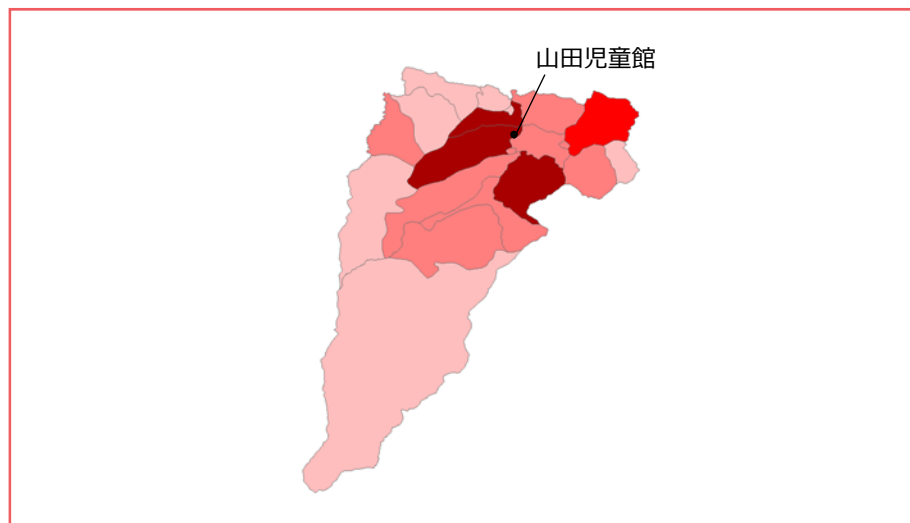
- 山田保育所は、築40年以上経過していることから、今後、耐震性能の強化や機能の改善を含む改修が必要になります。
- 子どもの将来的な人数を想定したうえで、ニーズに対応した施設を着実に確保する必要があると考えられます。しかし、少子化によって既存施設が過大となる場合は、規模の縮小などを検討する必要があると考えられます。
- 市全体では、保育所の民営化を推進しています。

2

公共施設の状況

公共施設の基本情報

幼児・児童施設



分類	施設名	延床面積 (m²)	築年数 (令和2年度)	年間利用人数 (人)	避難所	対象
児童館	山田児童館	781.19	37	11,679	—	●
	富山市平均	384.37	—	33,126	—	—

考えられる課題

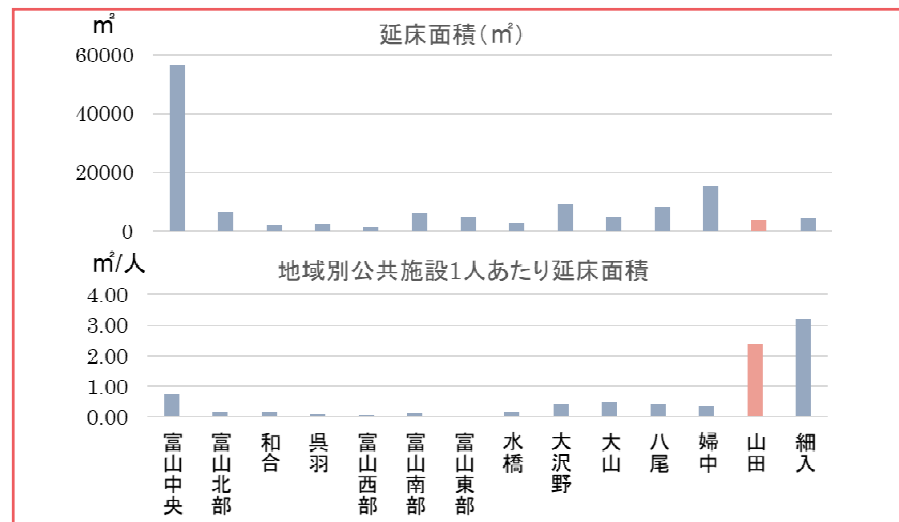
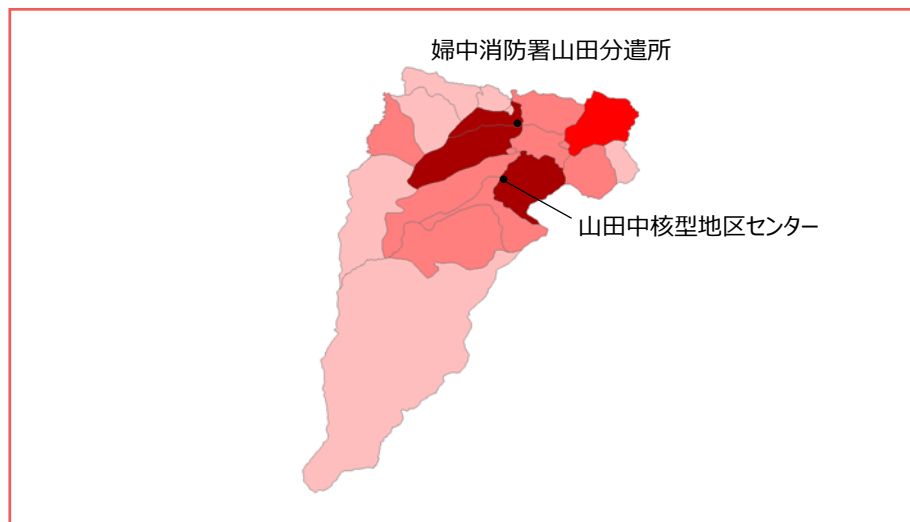
- 山田児童館は、築35年以上経過していることから、今後も長期にわたって利用し続ける場合、改修が必要になります。
- 子どもの将来的な人数を想定したうえで、ニーズに対応した施設を着実に確保する必要があると考えられます。しかし、少子化によって既存施設が過大となる場合は、規模の縮小などを検討する必要があると考えられます。

2

公共施設の状況

公共施設の基本情報

庁舎等、消防施設、その他行政系施設



分類	施設名	延床面積 (㎡)	築年数 (令和2年度)	年間利用人数 (人)	避難所	対象
支所	山田中核型地区センター	1,396.15	50	—	—	●
	富山市平均	3,443.01	—	—	—	—
消防分署	婦中消防署山田分遣所	250.13	13	—	—	—
	富山市平均	575.91	—	—	—	—

考えられる課題

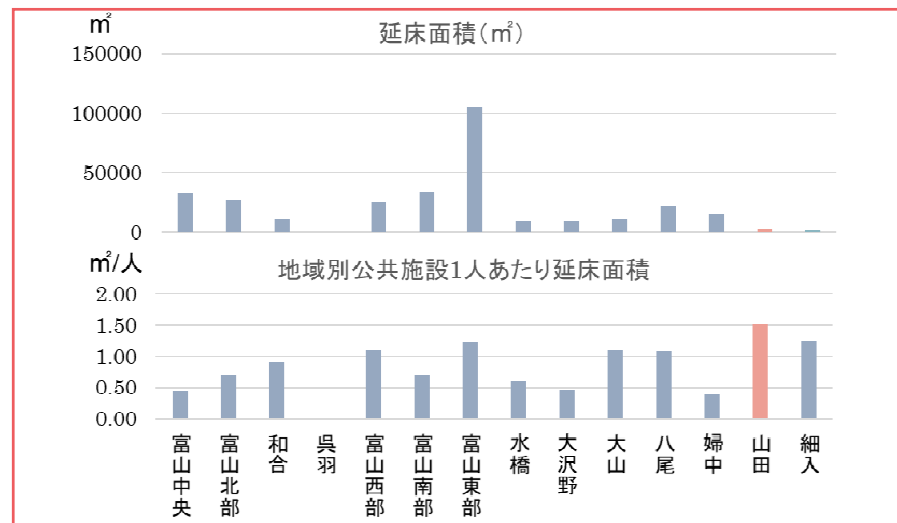
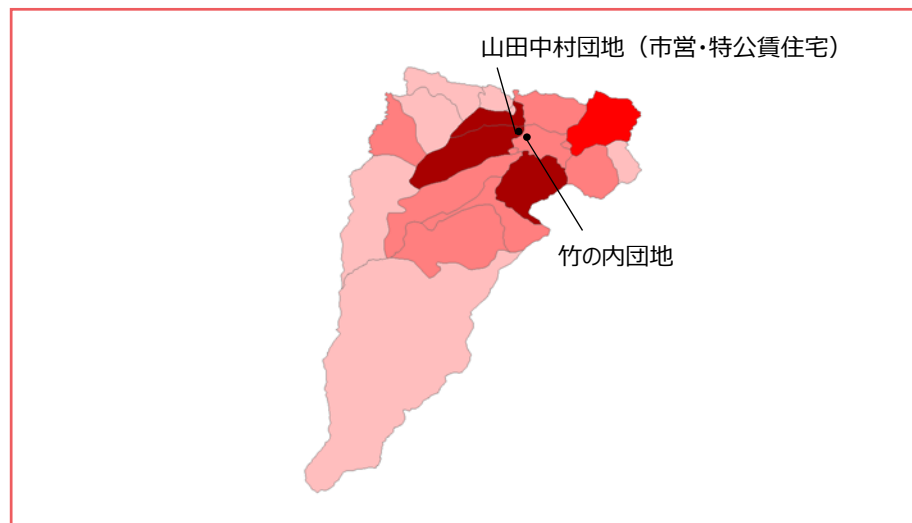
- 山田中核型地区センターは、築50年以上経過しており、老朽化が著しく、耐震性もないことから、災害発生時には地域の中核施設としての行政機能が失われる可能性が高く、他の施設との複合化などを検討していく必要があります。
- 山田中核型地区センターの建物は現在では過大となっており、空きスペースが多く発生している状況です。
- 婦中消防署山田分遣所は、今回のワークショップでの検討対象外です。

2

公共施設の状況

公共施設の基本情報

公営住宅（市営住宅）



分類	施設名	延床面積 (㎡)	築年数 (令和2年度)	年間利用人数 (人)	避難所	対象
市営住宅	山田中村団地(市営・特公賃住宅)	1,823.14	21	—	—	—
市営住宅	竹の内団地	617.80	40	—	—	—
富山市平均		8,055.56	—	—	—	—

考えられる課題

- 公営住宅については、今回のワークショップでの検討対象外です。